

遊びって、すごい!

宗像市子どもの権利救済委員

河内 祥子

令和6年度も「はぴくろ」では、はぴくろ子ども実行委員のみなさんと一緒に「はぴくろ秋まつり」を企画しました。実行委員のみなさんも遊ぶのが大好きで、来てくれた人にも楽しんでもらおうと、いろいろなアイデアを出してくれました。そんな姿に感化され、改めて「遊び」について考えてみました。

突然ですが、あなたは遊ぶのが好きですか？

ゲーム？ テーマパーク？ YouTube？ もちろん、それらも楽しい遊びです。

でも、遊んで本当にそれだけでしょうか？

実は、遊びは無限にあります。おじいちゃんやおばあちゃんが子どもの頃は、ゲームもスマホもありませんでした。けれど、石や葉っぱ、枝や空き箱を使って工夫しながら遊んでいました。友だちとルールを考えたり、失敗しながら作りなおしたりして、「なければ、つくる」という遊びを楽しんでいたのです。令和5年度から始まった「はぴくろ秋まつり」も、そんなふうに生まれました。コロナの影響で学校行事が減っていた頃、「みんなで思いきり遊びたい!」という実行委員の声からスタートしたのです。

もちろん、ゲームや動画も楽しいですが、それだけが遊びだと思っていたら、ちょっともったいない。スマホやゲームがなくても、あなたの頭と心があれば、遊びは生まれます。たとえば、家族や友だちとピクニックや自然の中に出かけてみてはどうでしょうか？「なんにもなくて、つまらない」と思ったときこそ、面白いことを生み出すチャンスかもしれません。葉っぱのボートで競争する？ 石で道をつくる？想像力と工夫で、わくわくする遊びはきっと始まります。

遊びのすごいところはもう一つあります。遊ぶことで、心と体が育つのです。転んだり、けんかしたり、我慢したり、大笑いしたり。すべて遊びの中で自然に起こります。転べば痛いけれど、骨は衝撃を受けることで強くなると言われています。けんかを避けてばかりでは、人との関わり方を学べません。気の合わない相手とも、どう付き合えばいいのか、遊びながら身につけていくのです。成功しても失敗しても、勝っても負けても、笑って泣いて。そうやって少しずつ、「あなたらしいあなた」になっていくのです。遊びは、ただのヒマつぶしじゃない。あなたの未来をつくる“宝もの”です。あなたには、いつ、どこで、どんな遊びを、誰とするか、その選択肢はたくさんあります。逆に言えばあなたがどんな選択をするか、その選択の積み重ねであなたの未来は変わるのです。だから遠慮せずに思いきり遊んでください。いや、遊ばなきゃ、ほんとうにもったいない。

そして、あなたが自由に遊べるのは、誰かが見えないところで守ってくれているからです。宗像の山や浜辺は遊びの宝庫ですが、自然の中には危険がたくさんあります。だからこそ、命に関わるような危険は避けつつ、小さな失敗やけがは見守る覚悟で、そばにいてくれる大人がいます。本当は、テーマパークに連れて行くほうが楽かもしれませんが、でも、「楽」より「あなたの未来」を選んでくれた人がいることを、どうか心にとめておいてください。そして、いつかあなたが、そんな大人になってくれると嬉しいです。